

第 6 回刈羽村景気ウォッチャー調査 概況

1. 調査日 令和 6 年 5 月 16 日
2. 調査対象
対象事業所数 148 事業所 (商工会法定会員)
回答事業所 101 事業所 (回答率 : 69.7%)
3. 調査対象時点 令和 5 年 1 0 月 ~ 令和 6 年 3 月期を対象とした。
4. 調査方法 刈羽村と共同で実施し、商工会で調査票を対象事業所に配布し、令和 6 年 5 月 16 日までに FAX 等により回答いただいた。調査集計は刈羽村産業政策課で行った。

5. 概 要

調査期間内において、総じて、コロナ禍後の改善が進み、売上に関しては業種を問わず大幅な改善傾向が強まりました。加えて、営業利益は直近でやや改善傾向が見受けられていますが、原材料価格高騰に伴う物価高の影響から業種により見通しには慎重な傾向が見受けられます。一方、経営課題、悩み事の調査項目では、「売上高、営業利益の伸び悩み」「原材料、資材の高騰」「人手不足」との回答が上位で固定化されていますが、「人手不足」と回答する事業者が過去最高となっています。

(1) 売上高

直近 6 ヶ月の合計売上高については、回答事業所の約 57.4%が前年同期に比べて「増加した」と回答しており、前回調査 (約 61.0%) よりも 3.6 ポイント減少しています。一方、今後 6 ヶ月の売上見通しについては約 58.4%が増加すると回答しており、前回調査 (約 50.0%) よりも 8.4 ポイント増えており、改善傾向は安定して続いています。

(2) 営業利益

営業利益は、直近 6 ヶ月と前年同期との比較については回答事業所の約 29.7%が「増加した」と回答しており、前回調査 (約 26.0%) に比べて増えています。また、今後の見通しについては、回答事業所の約 17.8%が増加

すると回答しており、前回調査（約 22.0%）に比べて 4.2 ポイント減少しています。一方で、直近 6 ヶ月と前年同期との比較においては、依然として「減少する」「かなり減少する」と回答している事業所が約 37.6%と「増加する」と回答した事業所を上回っており、慎重な景況感が見受けられます。

（3）設備投資

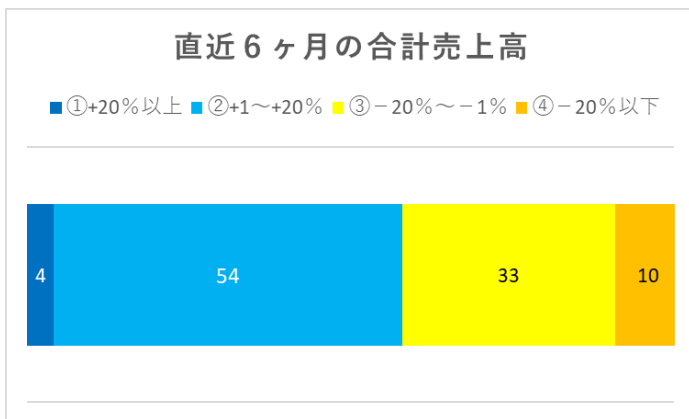
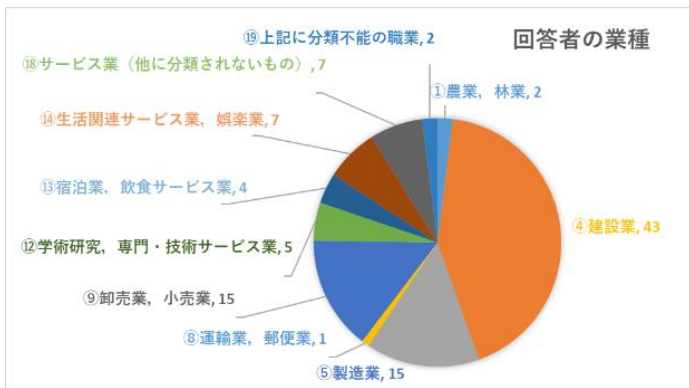
設備投資については、実施した事業者が約 37.6%と前回調査（約 47.0%）に比べて 9.4 ポイント減少しており、動きが鈍化しています。また、設備投資の多くは、1,000 万円以下の設備投資となっています。一方、今後の見通しでは約 40%が設備投資を予定しており、積極的に動きに期待したいと思えます。

（4）経営課題、悩み事

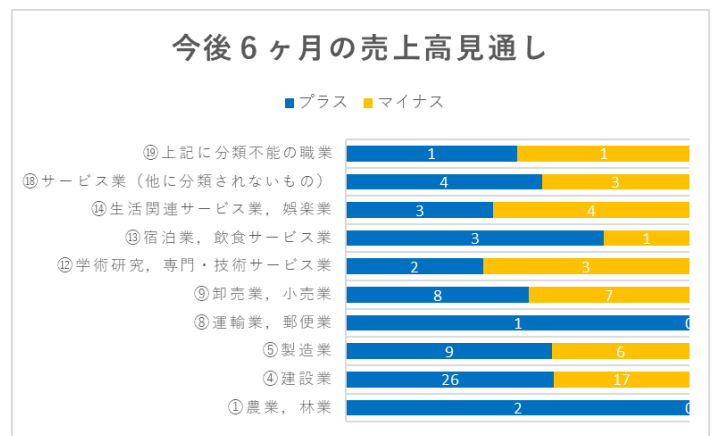
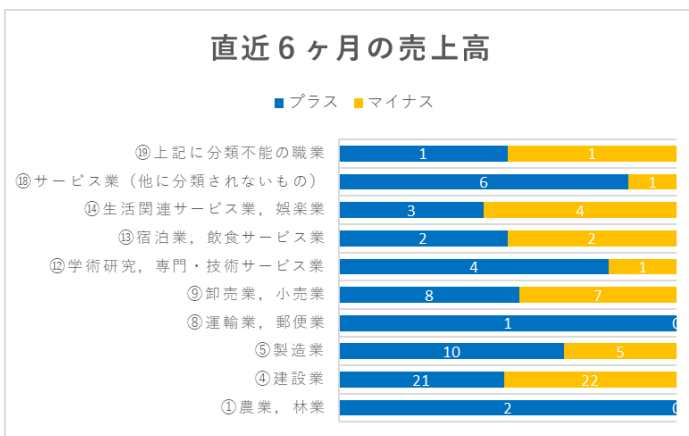
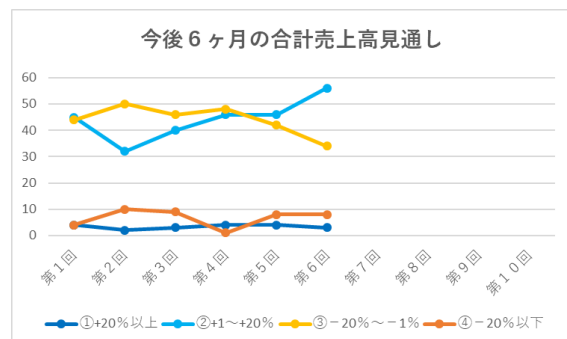
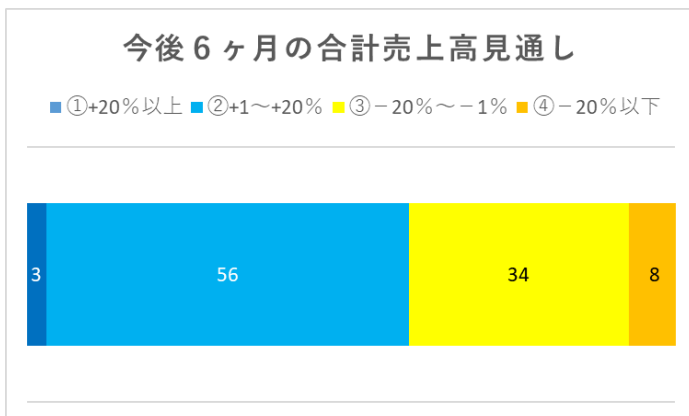
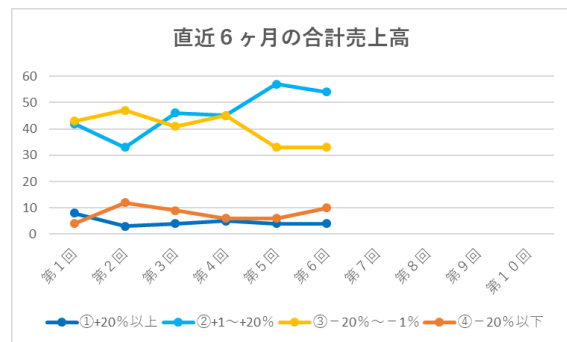
前回調査と同様の傾向で、経営上課題・悩み事の上位 3 項目には「売上高、営業利益の伸び悩み」「原材料、資材、光熱費の高騰」「人手不足」が多く示されており、固定化しています。今期においては、「人手不足」との回答が約 25.6%と初めて最多となり、前回調査（約 23.2%）に比べて回答数が増加しました。また、「事業承継・後継者確保」との回答が増加傾向です。

一方、「原材料、資材、光熱費の高騰」と回答した事業所の内、原材料（資材）と水道光熱費の上昇感についてお聞きしたところ、原材料、光熱費共に高騰率は「+100%～+200%」が全体の約 80%以上を占めています。「+150%～+200%」との回答は 1 割以下程度に留まり、前回調査に比べて減少しましたが、依然として今後の注視が必要です。

5月24日時点の回答率 69.7% (101件/145件) ※グラフの単位は全て件。



売上高は直近では前回から横ばい、見通しではプラスが大幅に増加。改善傾向が続いている。業種ごとの傾向はあまり見られない。同業種でも事業者ごとに明暗が分かれている模様。



直近6カ月の営業利益

- ①かなり増加する ■ ②増加する ■ ③変わらない
- ④減少する ■ ⑤かなり減少する

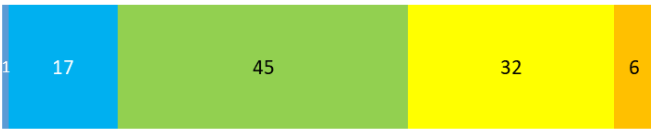


営業利益は直近でやや改善傾向が続く。見通しでは変化なしが増加。

直近では幅広い業種でプラスとなっているが、サービス業（他に分類されないもの）、学術研究、専門・技術サービス業、製造業では見通しにやや暗さがある。

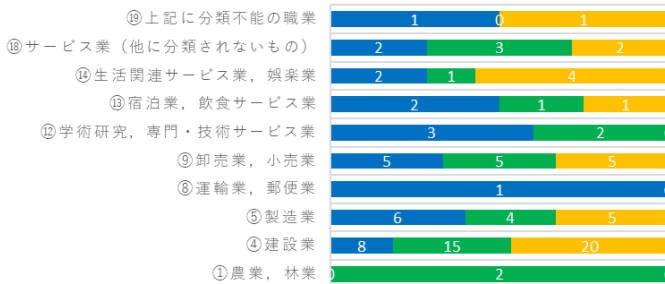
今後6カ月の営業利益見通し

- ①かなり増加する ■ ②増加する ■ ③変わらない
- ④減少する ■ ⑤かなり減少する



直近6ヶ月の営業利益

- プラス ■ 変化なし ■ マイナス

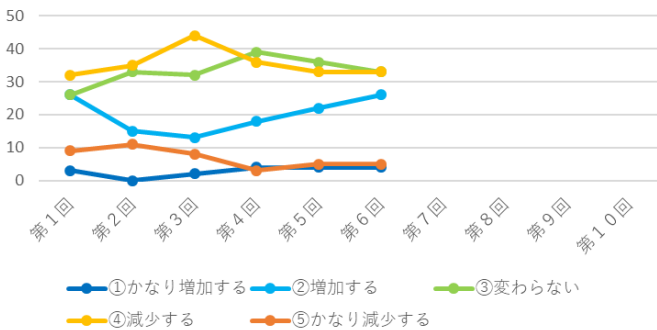


今後6ヶ月の営業利益見通し

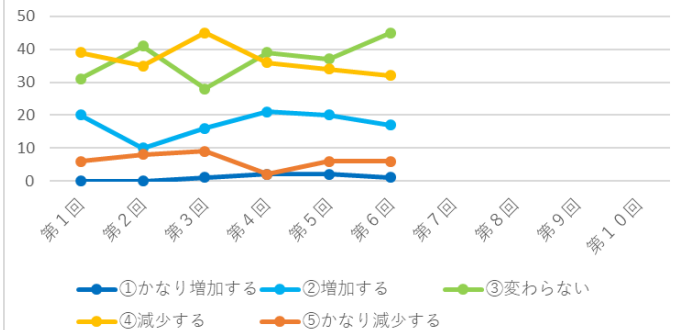
- プラス ■ 変化なし ■ マイナス



直近6ヶ月の営業利益



今後6ヶ月の営業利益見通し



直近6カ月の設備投資

- ①実施無
- ②～100万円
- ③100～500万円
- ④500～1,000万円
- ⑤1,000万円以上



前回までの反動か、全般的に設備投資が一服し、実施無が増加。見通しでは横ばいの状況が続く。サービス業全般で比較的積極的な動きが見られる。

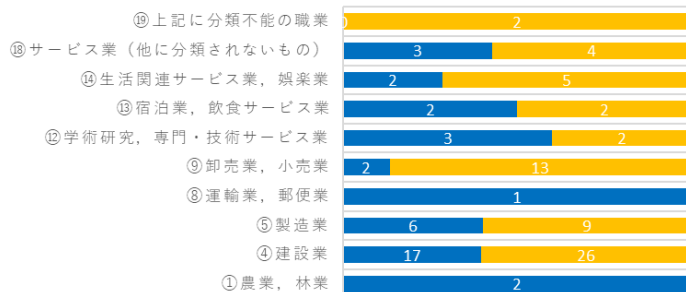
今後6カ月の設備投資見通し

- ①実施無
- ②～100万円
- ③100～500万円
- ④500～1,000万円
- ⑤1,000万円以上



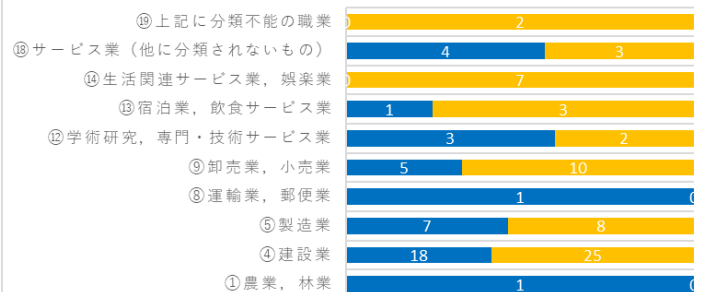
直近6ヶ月の設備投資

- あり
- なし

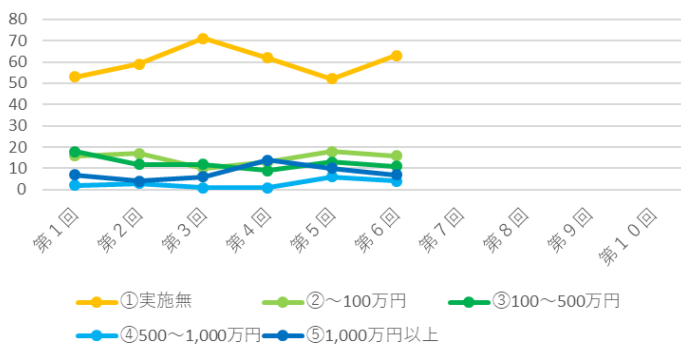


今後6ヶ月の設備投資見通し

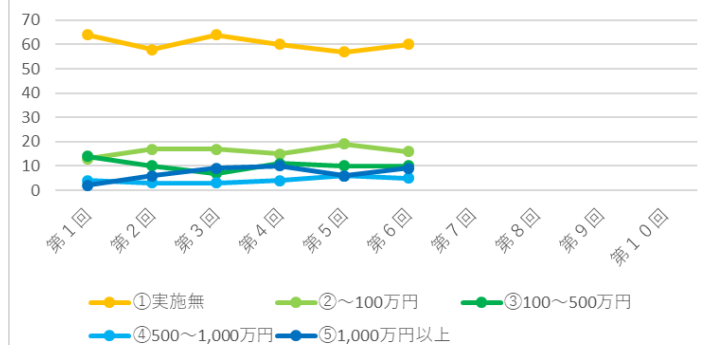
- あり
- なし



直近6ヶ月の設備投資



今後6ヶ月の設備投資見通し



直近6か月の原材料（資材）の高騰率

■①+100%～+150% ■②+150%～+200% ■③+200%以上



直近6か月の光熱費の高騰率

■①+100%～+150% ■②+150%～+200% ■③+200%以上



これまでと同様に原材料（資材）、光熱費共に高騰率は+100%～+150%が最多。

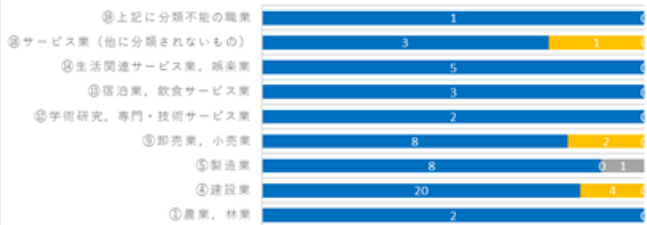
+150%以上はさらに減少し、上昇率は落ち着いている。

原材料（資材）、光熱費共に業種を問わず影響が広がる。

今後についても、業種を問わず、大多数の事業者が上昇を見込んでおり、注意が必要。

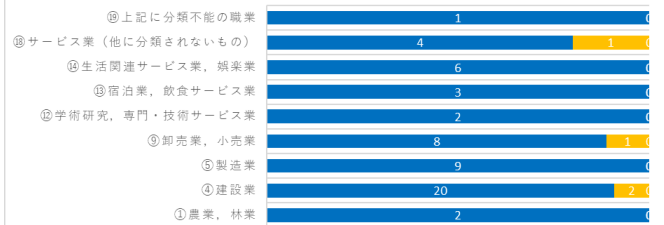
直近6か月の原材料（資材）の高騰率

■+100%～+150% ■+150%～+200% ■+200%以上

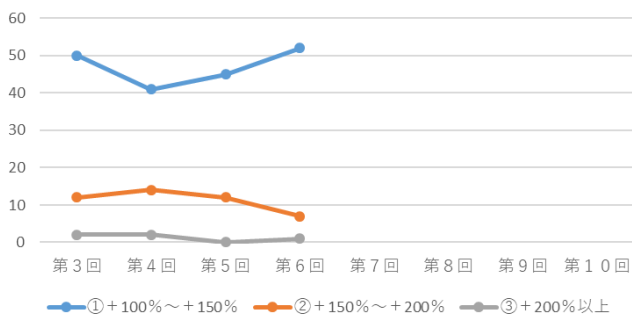


直近6か月の光熱費の高騰率

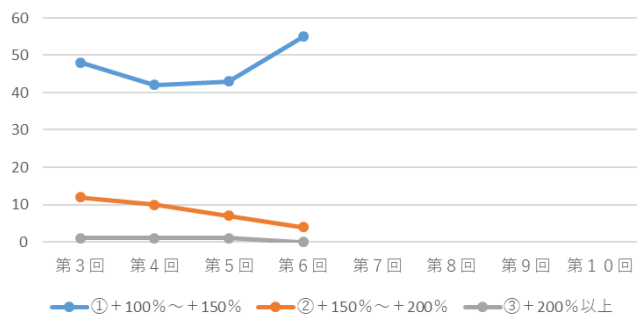
■+100%～+150% ■+150%～+200% ■+200%以上



直近6か月の原材料（資材）の高騰率

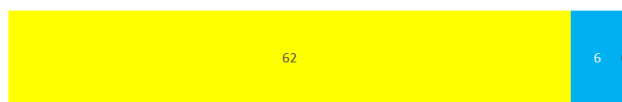


直近6か月の光熱費の高騰率



今後6か月の原材料（資材）の高騰率見通し

■①高い（上がる） ■②平年並み ■③低い（下がる）



今後6か月の光熱費の高騰率見通し

■①高い（上がる） ■②平年並み ■③低い（下がる）



今後6か月の原材料（資材）の高騰率

■高い ■平年並み ■低い



今後6か月の光熱費の高騰率

■高い ■平年並み ■低い

